

# 第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

## 予選審査 実施要領

### 1 期日

平成27年7月29日(水)

### 2 審査員

審査員は、ろう者2名及び聞こえる人2名の4名とし、このうち1名を審査員長とする。

### 3 審査方法

4の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技(動画)を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

### 4 採点方法

(1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話の正確性・ 分かりやすさ	演出力・ パフォーマンス度	総合的な表現力	合計
ろう者	(30点満点)	(30点満点)		(60点満点)
ろう者	(30点満点)	(30点満点)		(60点満点)
聞こえる人			(40点満点)	(40点満点)
聞こえる人			(40点満点)	(40点満点)
合計	(60点満点)	(60点満点)	(80点満点)	(200点満点)

(2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

ア 手話の正確性・分かりやすさ

表情も含め、正確かつ分かりやすく、表現したい内容が理解できるかどうか。

イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感、機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあり、伝えたい内容がしっかりと伝わってくるかどうか。構成や演出がよく工夫されているかどうか。

ウ 総合的な表現力

チームとしての一体感、機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあり、伝えたい内容がしっかりと伝わってくるかどうか。構成や演出がよく工夫されているかどうか。

(3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点からの減点とする。失格又は点数の定めのない減点は、審査員の協議により決定する。

ア 差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合 失格

イ 第三者の権利を侵害する内容が含まれる場合 失格

ウ 準備に1分以上の時間を要すると見込まれる大道具等の使用及び設置 失格

エ 動画制限時間(3分)の超過 超過時間10秒ごとに10点減点

(例 5秒超過 -10点、17秒超過 -20点、22秒超過 -30点)

オ 定められた動画の撮影方法に反した場合 20点減点

※演技の始めから終わりまでを通して、演技者の正面でカメラを固定し、演技者の身体全体が見える

よう、一定の倍率で撮影したものとする。カメラを移動させながらの撮影や倍率を変えての撮影はしないこと。

カ その他主催者が不適切と認めた演技又は行為 失格又は減点

## 5 本選出場チームの選出方法

### (1) 地方ブロック枠（6チーム）

応募チームを所在地別に6つの地方ブロック（北海道・東北ブロック、関東ブロック、中部ブロック、近畿ブロック、中四国ブロック、九州・沖縄ブロック）に振り分け、各ブロックで最終得点の合計が1位であったチームを本選出場チームに選出する。

### (2) 得点順枠（13チーム）

地方ブロック枠選出チームを除き、最終得点の合計が上位の13チームを本選出場チームに選出する。

### (3) 開催地枠（1チーム）

地方ブロック枠及び得点順枠の選出チームを除き、鳥取県内の応募チームで最終得点の合計が上位の1チームを本選出場チームに選出する。

### (4) 地方ブロック枠内又は開催地枠内で応募チームがないときは、その枠を得点順枠のチーム数に加える。合計得点が同点となり、本選出場チームが得点のみでは決められない場合、審査員長が決定する。

## 6 本選での演技順の決定方法

本選に出場する20チームを2つのグループに分け、予選の最終得点が下位の10チームをAグループ、上位の10チームをBグループとして、各グループ内で演技順を抽選する。本選ではAグループ、Bグループの順に演技する。抽選は、予選審査結果発表の場で行う。

## 7 結果通知及び公表

- (1) 応募チームに対し、予選審査結果（予選通過又は落選）、最終得点及び審査員評（審査員名は非公開）を送付する。
- (2) 本選出場チームについて、チーム名、最終得点、応募で提出されたチーム紹介文及び集合写真を大会公式ホームページに掲載する。
- (3) 予選審査結果の発表の様子をインターネット上でライブ配信する。

## 8 その他

予選審査結果発表の場で、抽選により、選手宣誓を行うチームを決定する。